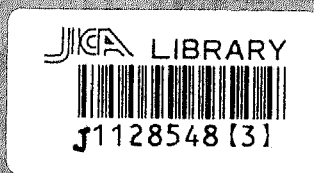


# マレーシア・アセアン家禽病研究訓練計画 アフターケア調査団報告書

平成8年2月



国際協力事業団



農開畜
JR
96 - 3







マレーシア・アセアン家禽病研究訓練計画  
アフターケア調査団報告書

平成8年2月

国際協力事業団



1128548 (3)

マイクロ  
フィルム作成

## 序 文

国際協力事業団(JICA)は、1986年4月17日から1993年4月16日まで7年間にわたり(延長2年を含む)、マレーシア国において家禽病の研究水準の向上を図ることを目的とした、マレーシア・アセアン家禽病研究訓練計画を実施しました。7年間の協力期間中、技術移転は順調に行われ、当初の目的はほぼ達成されました。しかし、プロジェクト終了後3年近くが経過した現在、近年のバイオテクノロジー技術の急速な進展に技術・機材が対応できない等の問題が生じてきたことから、マレーシア国政府は本プロジェクトに対するアフターケア協力を要請してきました。

これに対し当事業団では、1995年(平成7年)12月10日から12月21日まで農林水産省家畜衛生試験場鶏病研究官・湯浅襄氏を団長とするアフターケア調査団を派遣しました。本調査団は、プロジェクト終了後のマレーシア・アセアン家禽病研究訓練センター(APDRTC)の活動や現状の調査及び関係者との協議を行い、同アフターケア協力の必要性について確認してきました。

本報告書は、この調査及び協議の結果を取りまとめたものであり、アフターケア協力の実施にあたり広く活用されることを期待するものであります。

最後に、本調査にあたりご協力を頂いたマレーシア国政府関係者、並びにわが国関係者各位に対し深くお礼を申し上げます。

平成8年2月

国際協力事業団  
農業開発協力部  
部長 太田信介







農業省獣医局での  
事前打合せ

獣医研究所での  
事前打合せ



マレーシア・アセアン家禽病  
研究訓練センター(APDRTC)

インターナショナルホステル

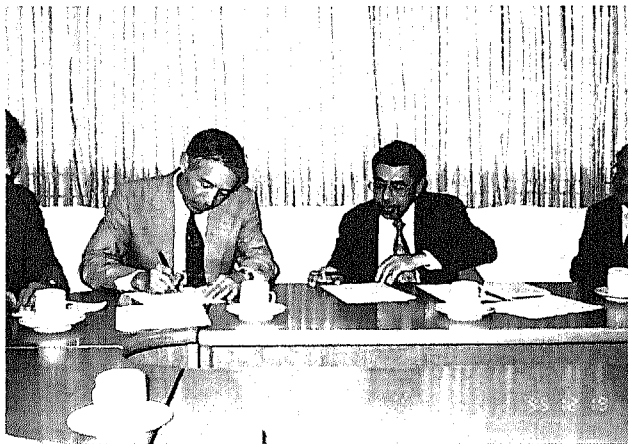
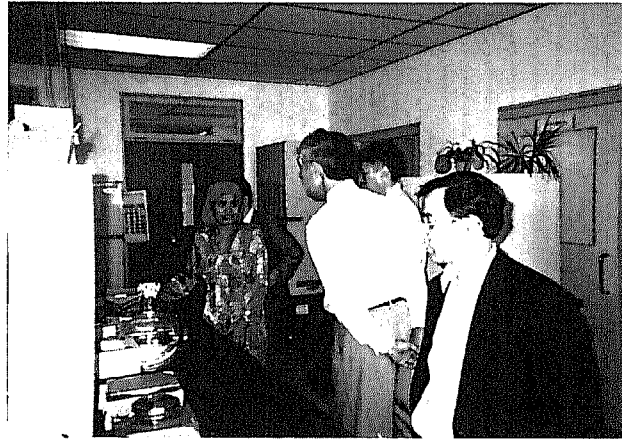






APDRTCスタッフとの  
合同ヒアリング

各研究室視察及び調査



ミニッツ署名

